

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	明海大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	メイカイダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	関東地方(東京都を除く)
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	ハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジ
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	公立大学
	科目名	ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修1・2及びホスピタリティ産業海外研修1・2
	学部・研究科等名	ホスピタリティ・ツーリズム学部
	担当教職員名・役職	神末武彦・ホスピタリティ・ツーリズム学部ホスピタリティ・ツーリズム学科教授
受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	6	
受入企業等数	4	
受入企業等名	アウトリガー・グアム・ビーチ・リゾート、プリンス ワイキキ、JTBハワイ、ワタベ・ウエディング・ハワイ	
インターンシップの分類	1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ 2.有給インターンシップ 3.海外インターンシップ 5.他県をまたぐ広域インターンシップ 6.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	ホスピタリティ業界およびツーリズム業界におけるインターンシップで、海外の施設で職業実習を行うものである。卒業後の的確な職業選択と要求される初歩的技術の早期習得を目的とする。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	1年次～4年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	各4単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	1年次以上を対象に、原則として学生の前学期又は後学期の約半年間で実施し、終了後、所定の4つの科目を包括して単位認定としている。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他

要素③	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	学部担当教員がインターンシップ期間中に適宜研修機関の担当者及び学生と電話やメール等で、インターンシップ中の学生の成果や状況について双方から確認を行っている。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ担当教員(コーディネーター)が4~5回に渡り、インターンシップに参加するに当たってのマナーや心構え等指導している。また、過年度インターンシップ参加学生から、参加に当たっての内容や注意事項等申し送りを行う。なお、学部の必修授業科目「プレゼミナール」及び担当教員による「ケーススタディ」の履修を前提とする。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	報告会を実施している。その報告会では、主に「今回のインターンシップで得たこととそれを今後の学生生活でどのように活かしていくか」について、1人約1~2分程度で各学部教員に向け発表させている。その発表を受け、各教員から学生に報告に関する詳細な質問を行い、回答させている。学生はその質疑応答を随時メモを取り、今後の学生生活等に活かしていく。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	学部担当教員がインターンシップ期間中に適宜研修機関を訪問し、学生及び企業と面談を行うことで、インターンシップ中の学生の成果や状況について双方から確認を行い、課題等を共有し、より効果的な研修となるよう調整等を行っている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	研修終了後、参加学生に対しレポート(参加して学んだことや全体の感想で400文字)及び満足度アンケート(5段階評価及び理由)を課している。事前に企業研究などのレポートを課している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	4.その他
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	原則、前学期又は後学期の約半年間
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	前学期は4月中旬~9月中旬の期間内、後学期は9月中旬~2月中旬の期間内の中で、計5日以上(約85日間)	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にととの意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している 5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している 6.企業と協働して、PDCAを実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ担当教員と受入先企業等で主にメールのやり取り等で調整しながらプログラムを設計している。また、各研修機関へ学生の評価表を送付し、研修機関は対人態度や業務態度等各項目を数値化させ、学生に対する全体的な評価・助言等を行っている。
	7.上記①~⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	本学に、上記内容を全て網羅した該当のウェブサイトがないため、関係資料を郵送でご提出します。別途提出済み
問	大学等名 担当部署名	明海大学浦安キャンパス キャリアサポートセンター

問い合わせ先	担当者役職名	係長
	担当者氏名	芝崎友政
	電話番号	047-355-5118
	メールアドレス	tshib113@meikai.ac.jp